

社長メッセージ

社長メッセージ

存在感ある仕事を積み重ね社会課題を解決

私たちを取り巻く社会には、地球温暖化や生物多様性の維持などの環境問題、人権問題といった課題や、人口増加に伴うエネルギー・水・食料等の資源・素材の需要増加、電力・交通・通信等のインフラ整備や教育・医療・介護等の基礎的サービス向上など、さまざまな社会ニーズが存在しています。世界中で多岐にわたる事業を展開する三井物産は、ステークホルダーの皆さまと日々対話を重ねる中で、社会のニーズや期待をしっかりと認識し、事業活動を通じた当社ならではの価値創造によって、真摯に課題を解決し続けます。そして、すべての事業領域において「挑戦と創造」を通じて「360° business innovation.」を体現していくことで、日本、そして世界に役に立つ存在感ある仕事を積み重ね、当社の企業使命である「夢溢れる未来」作りと持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

これが「三井物産のCSR」であり、今後もCSRレポートをはじめ、さまざまなコミュニケーションを通じて、あらゆるステークホルダーの皆さまにわかりやすくお伝えしていきます。それもCSRの大切な活動の一つと考えています。



人材育成とビジネスイノベーション

当社にとって、「人」は最も重要な資産であり会社を支える原動力です。当社の強みである「総合力」と「つなぐ力」を発揮し、グローバルに事業を展開していくためには、業務上の知識や専門性だけでなく、倫理観や謙虚さ、そして多種多様な価値観を持った人々から信頼される、いわゆる人間力を持った強い個の集団にしていくことが必要であり、そのために当社は創業以来人材育成を大切にしています。

こうした人間力を備えた多様な人材が、めまぐるしい事業環境の変化をチャンスと捉え、自由な発想で新しいビジネスに「挑戦」し、イノベーションを「創造」していく集団であり続けたいと考えています。

持続可能な社会への貢献

三井物産は2004年10月に、国連が提唱する「人権」「労働基準」「環境」「腐敗防止」に関する企業や団体の自主行動原則である「国連グローバル・コンパクト」の支持を宣言し、その実現に向けて活動しています。同年に「CSR基本方針」、2007年12月には「サプライチェーンCSR取組方針」を策定し、以降、世の中の意識の変化に応じて両方針を見直しながら、グローバルグループでその遵守と実践に取り組んでいます。

昨年度は、ステークホルダーとのコミュニケーションから得た社会の関心や期待を念頭に当社としてのCSR課題を抽出し、経営における重要な指標の一つとして「CSRの5つの重要課題」を特定し、全社で共有しました。今年度は、昨年発表した新中期経営計画に掲げる7つの「攻め筋」のそれぞれにおいて、この「重要課題」の解決につながる具体的な取り組みを実行します。当社はこれからも環境・社会課題としっかり向き合い、全事業活動を通じた当社ならではの価値創造により持続可能な社会の発展に貢献していきます。

三井物産株式会社
代表取締役社長
安永 竜夫